

日比谷カレッジ

event schedule

9・10月の講座

〈参加申込〉電話 (03-3502-3340) またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館 1 階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。

千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

9/3

(火)

上廣・日比谷ライブラリー・レクチャー

私のチャレンジ人生 第6回「人生多様化」戦略 ―他者の人生に賭けることの豊かさをめぐって

講師：小川 さやか(文化人類学者)

物語を読んで空想することが好きだった子ども時代から、海外旅行や山登りに明け暮れた学生時代を経て、アフリカ研究や文化人類学と出会い、タンザニアの人びとのしたたかな生き方を研究した私自身のオートエスノグラフィをもとに、ここではないどこかに行かなくても生き方を多様化する方法はあるのだというお話をしたいと思います。

(主催：公益財団法人 上廣倫理財団)

■日時：9月3日(火) 19:00～20:30(18:30開場)

■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)

■定員：200名 ■参加費：500円(千代田区民・学生は無料)

※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。



9/6

(金)

石川の漆芸文化を知る

講師：小林 真理(美術ジャーナリスト)

令和6年能登半島地震により輪島は甚大な被害を受けました。今回は輪島の現状をお伝えするとともに、輪島塗を中心とした石川県の漆芸文化に焦点をあて、その工程や伝統技法を守ってきた職人の匠の技と素晴らしい作品をご紹介します。

■日時：9月6日(金) 18:00～19:30(17:30開場)

■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)

■定員：60名 ■参加費：1000円



9/18

(水)

千代田区内ミュージアム連携企画 展覧会への入口講座 Vol.40

初的女性法曹『三淵嘉子』の歩み

講師：村上 一博(明治大学法学部教授、明治大学史資料センター所長)

昭和13年秋、田中正子・久米愛とともに、女性として初めて高等試験司法科に合格した三淵嘉子は、女性を取り巻く社会の不合理と闘いながら、弁護士・裁判官として歩んでいきました。『虎に翼』の数々の情景を、法律考証担当者の立場から解説します。

■日時：9月18日(水) 14:00～15:30(13:30開場)

■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員：200名

■参加費：1000円(千代田区民500円)



『追想のひと 三淵嘉子』(三淵嘉子さん追悼文集刊行会、1985年)

9/19

(木)

日比谷オペラ塾「オペラ・あ・ら・かると bis」

没後100年記念 プッチーニ特集

「プッチーニとトスカニーニとの関係」

講師：山田 治生(音楽評論家)

今回は、ジャコモ・プッチーニの没後100年を記念して、プッチーニの特集を3ヶ月にわたってお送りします。第3回は、彼の理解者でもあった20世紀最大の指揮者トスカニーニとの関係を、「トスカニーニ 大指揮者の生涯とその時代」の著者、山田治生氏が語ります。

(主催：フェニーチェ劇場友の会)

■日時：9月19日(木) 19:00～20:30(18:30開場)

■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)

■定員：60名 ■参加費：1500円



ジャコモ・プッチーニ(1858-1924)

9/26

(木)

星のソムリエ® 星空教室 ～天文学史編

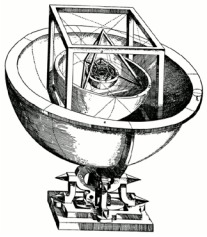
第2回「動き出した地球と宇宙」

講師：皆川 敏春(星のソムリエ®みたか)、北崎 直子(星のソムリエ®みたか)

現代に生きる私たちは、長い歴史に渡る多くの天文学者らの努力や叡智を受け継いで宇宙を理解できるところまで到達しました。今年度の「星空教室」は、現代につながる宇宙科学の歴史を「人物」を軸に学びます。第2回は、コペルニクスの転回から、広がる太陽系と宇宙の姿の発見までを辿ってみましょう。

■日時：9月26日(木) 19:00～21:00(18:30開場)

■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員：200名 ■参加費：1000円



「天球の音楽(ケプラー)」

9/28

(土)

内田嘉吉文庫の一冊 第2回

海を渡った江戸紫のブックデザイン

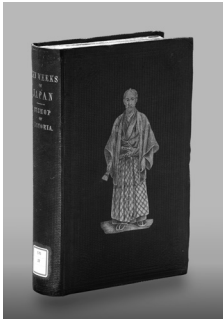
講師：野村 悠里(東京大学大学院人文社会系研究科准教授)

内田嘉吉文庫の一冊に、G.スミス著『日本における十週間(Ten Weeks in Japan)』があります。表紙中央には、扇を持ったサムライ。魅惑のブックデザインはどのようにして生まれたのでしょうか。伝統工芸製本の技術をもつ講師が、本づくりに秘められた職人の技を紐解きます。

■日時：9月28日(土) 14:00～15:30(13:30開場)

■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)

■定員：60名 ■参加費：1000円



10/9

(水)

千代田区内ミュージアム連携企画 展覧会への入口講座Vol.41

静嘉堂の茶道具を“深堀り”で楽しむ！

曜変天目も！

講師：長谷川 祥子(静嘉堂文庫美術館 主任学芸員)

「三菱」を創始した岩崎彌太郎の弟、彌之助とその息子小彌太によって創設・拡充された静嘉堂には、貴重な古典籍と東洋古美術品が収蔵されています。静嘉堂が丸の内にギャラリーを移して初の茶道具展「眼福展」で出品の作品から、これぞ、という名品を、画像＆解説でじっくり味わいましょう。国宝・曜変天目はことに“深彫り”します！

■日時：10月9日(水) 14:00～15:30(13:30開場)

■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)

■定員：200名

■参加費：1000円(千代田区民500円)



国宝「曜変天目(稲葉天目)」 南宋時代(12世紀～13世紀) 静嘉堂所蔵

10/10

(木)

「日比谷オペラ塾」2024／2025シーズン開幕特別講演会

赤川次郎さんが語る 特別講演『歌と私』

講師：赤川 次郎(作家)

ウィーンのアペラハウスを舞台にした『三毛猫ホームズの歌劇場』(KADOKAWA)、オペラへの愛と情熱が満載のエッセイ『三毛猫ホームズとオペラに行こう！』(朝日新聞出版)などの作品があり、文壇きってのオペラ通として知られる赤川次郎氏に、オペラの魅力と楽しみ方を語っていただきます。

(主催：フェニーチェ劇場友の会)

■日時：10月10日(木) 19:00～20:30(18:30開場)

■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)

■定員：200名 ■参加費：2000円



10/11

(金)

地盤の専門家に教わる地面の下の不思議となぜ

講師：杉本 隆男(早稲田大学理工学術院総合研究所 招聘研究員)

建設工事や地盤災害調査に豊富な経験をもつ地盤の専門家から、地震時の液状化や地盤沈下、地名との関係や地震・大雨による斜面崩壊など「地盤」についての正しい知識を学びます。

(企画協力：NPO法人 建築から社会に貢献する会)

■日時：10月11日(金) 19:00～20:30(18:30開場)

■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)

■定員：200名 ■参加費：1000円



10/17

(木)

源氏物語をひらく 第1回

「源氏物語×枕草子：平安文学に丸ごと親しむ！」

講師：渡辺 祐真(作家)

平安時代を代表する文学と言えば、『源氏物語』と『枕草子』。この二つの作品は、同じ時代に、近しい立場にあった紫式部と清少納言という人物によって生み出されました。本講座では、二つの作品を比較したり、この作品が生まれた時代背景を学んだりすることで、両作品をまとめて味わいます。

■日時：10月17日(木) 19:00～20:30(18:30開場)

■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)

■定員：200名 ■参加費：2000円(学生1000円)

※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。



©Kenta Koishi

10/31

(木)

源氏物語をひらく 第2回

「世界文学としての源氏物語～ウェイリー訳から「らせん訳」へ」

講師：穂矢 まりえ(俳人、評論家/写真左) 森山 恵(詩人、翻訳家/写真右)

約100年前の1925年、イギリス人アーサー・ウェイリーが『源氏物語』を英語全訳しました。世界に「シャイニング・プリンス・ゲンジ」が輝き出した瞬間です。「世界最高峰の文学作品」とイギリス・ヨーロッパで激賞されたウェイリー源氏。再翻訳した私たち姉妹が「世界文学としての源氏物語」を語ります。

■日時：10月31日(木) 19:00～20:30(18:30開場)

■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)

■定員：200名 ■参加費：2000円(学生1000円)

※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。



©Benjamin Parks

古文書塾てらこや体験講座 ◆ 各講座 1,000円

古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学習を進めています。10月期の開講に合わせ、古文書の世界に無理なく入っていける「体験講座」をご用意しました。まずはお試しください。

	講座名	曜日・時間	実施日	
入門コース 120分	古文書のいろは 筆字のくずし字	(月) 10:30～	9/30	
		(月) 13:30～	9/30	
		(火) 10:30～	9/24	
		(木) 13:30～	9/26	
		(金) 13:30～	9/27	
		(金) 18:30～	9/27	
		(土) 10:30～	9/28	
	いろはの次ー古文書いろいろ(午前クラス)	(火) 10:30～	10/1	
	いろはの次ー古文書いろいろ(午後クラス)	(火) 13:30～	10/1	
	本科コース 120分	文人画と碑文ー掛軸を読む	(日) 13:30～	9/29
		古文書の保存・修復の知技能ー古文書保存のセラピスト講座	(火) 13:30～	10/8
武家文書を読むー幕府崩壊事情		(水) 13:30～	10/2	
幕末・江戸庶民の世相を読むー「嘉永雑記」の世界		(木) 10:30～	9/26	
	くずし字で楽しむ江戸歌舞伎	(土) 13:00～	10/5	
	特別講座 90分	大久保利通の手紙を読む	(火) 19:00～	9/24
		開国ニッポンの外国人	(水) 13:30～	9/25
		江戸を楽しむー江戸の寺社あれこれ	(木) 18:30～	9/26
	江戸・明治の書状を読むー形式と内容、一歩から	(金) 18:30～	9/27	
	特設 月1回コース 90分	ハーバード大学本「源氏物語 須磨」の変体仮名を読む	(土) 13:00～	10/5
陽明文庫旧蔵「百人一首」の変体仮名を読む		(土) 15:30～	10/5	

■会場：4階スタジオプラス、セミナールーム ■定員：各講座23名(申込順)

■費用：各講座1000円 ■資料請求・体験講座のお問い合わせ：電話 (03-3502-3340) 日比谷図書館古文書館代表 古文書塾てらこや担当迄

特別研究室企画展示

9/30(月)まで

100年後も手に取れる本に
～内田嘉吉文庫修復報告2024～

2023年度に修復を行った内田嘉吉文庫をはじめとする所蔵資料7点の修復の記録と修復を終えた本を展示中です。書籍修復家・近藤理恵氏が講師を務める東洋美術学校保存修復科の学生による修復本もあわせてご覧ください。

写真：「Im fernen Osten」(1881年) 修復：藤井敬子

●開室時間：平日10:00～20:00 土曜10:00～18:00 日曜・祝日10:00～16:00

●会場：4階特別研究室 ●入場無料

From Chiyoda Public Library【千代田区立図書館からのお知らせ】

はじめての神保町街あるき 2024

千代田図書館コンシェルジュが神田神保町をご案内！“神保町の魅力発見”をコンセプトに神保町古書店街を巡り、地域の歴史や見どころを紹介します。

主催：千代田図書館 読書振興センター

■日時：①10/5(土) ②10/19(土) 11時～(各回同じ内容)

■定員：各回10名(抽選制)

■対象：小学生以上(※中学生以下は保護者同伴)

■申込：千代田区立図書館HP専用申込フォームより受付、当選した方の方に千代田図書館よりメールで通知

申込受付期間：① 9月6日(金)10時～9月13日(金)10時 ② 9月27日(金)10時～10月4日(金)10時

■参加費：300円(傷害保険料として) ※当日精算、現金のみ